

学校だより

<学校教育目標>

ちえとねばいとおもいやり

2022年11月29日(火) No.8



盛り上がった音楽祭、ご参加ありがとうございました

11月5日(土)、西内小学校の大きな行事、音楽祭が無事終了しました。ご来賓の皆様、地域の皆様、保護者の皆様ありがとうございました。第8波の前、感染の広がりが心配される時期でしたので、体育館も十分に感染対策を行いました。

進行は全校の児童が交代で務めました。



西内小卒業生(中学生)との合同演奏の様子

全校合唱「はじめようコンサート」で音楽祭のスタートです。今年入学した1年生も4人で「ドレミの歌」「子犬のマーチ」「きらきら星」を披露しました。

休憩時には、学校田で全校で育てたもち米を販売しました。総合的な学習の「西内の自然チーム」を中心に田植え、稲刈りなど取り組んできました。事前にもち米の注文をとり、前日には量って袋詰めをしました。今度のお正月に色んなご家庭でお餅になっていると思うとうれしいです。みんなで袋詰めしたもち米は完売しました。ありがとうございました。



また、今年は、何年かぶりで西内音楽クラブのみなさんのステージが再開しました。本格的なドラムに電子楽器、すごいテクニックでみんな聞き惚れていました。曲は、「ミックスマッツ」「Sing Sing Sing」「OMENS OF LOVE」の3曲。Official髭男dismの「ミックスマッツ」はすごく難しい曲で、本当に驚きました。「Sing Sing Sing」は中学生の金管の先輩や西内でお勤めされていた先生も加わり、すごく豪華な構成になりました。大人から先輩から小学生までいっしょ

に音楽を楽しめるのが西内のいいところだと、改めて感じました。

次は、中学生の先輩と小学生の現・金管バンドメンバーによる構成です。中学生は事前に何回か練

習に参加してくれました。しかし、1回目の練習からOfficial髭男dismの「宿命」をさらっと吹いていた姿を見て、先生方もびっくりしていました。本当に西内の金管バンドの経験は一生物なんだと感じました。

小学生のステージは、合奏へと続き、3・4年生の「パフ」、1年生の「子犬たちのマーチ」、「きらきら星」、5・6年生の「JUPITER」を披露しました。

最後は金管バンドのステージです。「笑点のテーマ」「銀河鉄道999」「聖者が街にやってくる」「ハロー・ドーリー！（西内アレンジ）」を披露しました。予想外のアンコールにも子どもたちはその場で相談して「宝島」を選択し、演奏しました。素晴らしい演奏でした。金管バンドの活動を通しての子どもたちの成長を感じました。

参加していただいた地域の皆様、中学生の先輩方、保護者の皆様ありがとうございました。来年も多くのみなさんの参加をお待ちしております。

なかよし旬間(11月8日～22日)

音楽祭終了後の11月8日～22日までなかよし旬間として人権同和教育の集中的な取り組みをしてみました。校長先生のお話にはじまって、講演会や人権同和教育の授業参観がありました。

○校長講話

「なかよし」に関わるお話をして下さいました。最初に3年生が音楽祭で歌った「Believe」の歌詞に注目して、友だちについて考えるきっかけをいただきました。

「たとえば きみが きずついて くじけそうに なったときは かならず ぼくが そばにいて ささえてあげるよ そのかたを…」

「もしも だれかが きみのそばで なきだしそうに なった ときは だまって うでを とりながら いっしょに あるいて くれるよね」

そして「なかよし」とは、西内小の学校目標「知恵とねばりと思いやり」の「思いやり」にあたることや、校歌の3番の歌詞にある「きよく やさしく むつみあう」の「むつみあう」の意味は「お互いに仲良くすることだよ」と教えて下さいました。

図書館の本の紹介もして下さいました。

「ええところ」（作くすのきしげのり 絵ふるしょうようこ）という関西弁の題名のお話です。

【あらすじ】自分にいい所がひとつもないと悩むあいちゃんが主人公です。友達のともしちゃんに聞いたら、次の日、手が誰よりも温かいことがええところやと教えてくれました。それを聞いたみんなは、冷たくなった手を温めてほしいとあいちゃんのところに来ます。

あいちゃんは嬉しくて、自分の手が冷たくなるまで、みんなの手を温めます。そのことを知ったともしちゃんは……。

あいちゃんのともしちゃんの、ともしちゃんはあいちゃんの優しさに気づいていき、最後にあいちゃんは、「わたし決めたんや。わたしも ともしちゃんみたいに ほかの子のええところを見つけてあげるねん。いっぱい見つけて いっぱい いうてあげるねん。」と思うようになります。みなさんには友だち

〇〇さんのいいところ

□□より

のいいところを、22人が伝え合える西内小学校であってほしい。「みとめあえるなかま」「たすけあえるなかま」になっていこう。というお話をして下さいました。

○児童会「なかよし水族館」

全員が友だちのいいところをメッセージカードに書いて掲示し、伝え合いました。水族館のいろいろな生き物の形のカードに「いいところ」がたくさんあって、とても賑やかな水族館になりました。

○授業参観、小学校・PTA・西内平井両公民館主催の人権同和教育講演会

☆参観授業の紹介

1学年の授業 「せいかつカルタであそぼう」

ともだちと仲良くし、学校生活を楽しくおくるために、どんなことに気をつければいいのか、せいかつカルタで遊びながら考えました。授業後半はお家の方といっしょにレクリエーションを楽しみました。

3, 4学年の授業 「権利の熱気球」

人権を学ぶために、まずはどんな権利があって、どんなことが大切なのか、熱気球を用いた活動で考えました。

5, 6学年の授業 「おらあ 学校へ行きてえ」

教材「あけぼの」に載っている、明治時代にあった人権同和教育について、朗読劇体験を通して登場人物の気持ちを考えました。

☆講演会のご紹介

畠山 正幸 先生（子どもとメディア信州 上田市立第五中学校長）を講師としてお迎えしました。

「メディアとのつき合い方を考えよう」

という演題で、メディアの便利なところ、これからの情報化社会の中で子どもたちがメディアとどうつきあっていくのか。保護者はどう子どもと向き合っていくか。という内容でお話をさせていただきました。ご参加くださった方の感想を紹介します。



- ・子どものゲームは、親のスマホの使い方でも変わってくるのがわかりました。子どもたちは、親が使っているものが気になって同じように使うことがあるので自分たちも気をつけないと、と思いました。
- ・使っちゃいけないんじゃなく、正しく使うルール作りが大切。わかりやすくとてもよかったです。ありがとうございました。



11月8日の月食
(西内小校庭より)

お知らせ「ふれあい人権のつどい」 12月10日(土)

場所：丸子文化会館セレスホール

午後2：00からのオープニング演奏に西内小金管バンドが登場します。保護者の皆様には、送迎等でお世話になりますが、よろしくお願ひします。

12月の予定

- 1日(水) 安全点検日
- 2日(金) 6年卒業制作 年長児陶芸
- 6日(火) スクールカウンセラー来校
- 9日(金) クラブ（最終回）、西内クラブ
- 10日(土) ふれあいのつどい(セレスホール)
- 15日(木)16日(金) 5時間授業
- 19日(月)~23日(月)学期末清掃
- 19日(月) 個別懇談会①
- 20日(火) 個別懇談会②
- 22日(木) 6年喫煙防止教育
- 23日(金) 西内クラブ
- 27日(月) 2学期終業式（短縮5時間）
- 28日(木) 金管バンド氷灯籠祭点火式
- 28日(火)~1月9日(月) 年末年始休業

学力向上に向けて

1 全国学力学習状況調査の結果と考察（6学年で実施）

国語 総合得点率で県や全国平均を上回ることができました。学習の内容では、『話すこと・聞くこと』において、特に上回ることができています。問題の中身では、話し合いの様子の一部から、発言の理由や、相手に質問して知りたかったことを説明する問題がよくできていました。また、物語の内容から主人公の気持ちを読み取る問題もよくできていました。

本校の他学年では、『話すこと・聞くこと』に課題傾向が見られます。当学年の課題としては、既習の漢字や言葉の特徴や使い方についての部分が他の問題より間違いが目立ちました。

算数 総合得点率で県や全国平均と同等の結果でした。『変化と関係』『データの活用』で全国平均を上回ることができていました。具体的な問題では、割合を分数で表したり、割合から量を計算して求めたりする問題がよくできていました。一方、数と計算の問題や図形の面積等でつまづいてしまう問題が見られました。道のりと時間の関係から速さを求める問題に代表される「変化と関係」は県や全国平均を超え、グラフを利用して示された特徴から考える「データの活用」は県の平均を超えています。

一方、図形の面積等では苦手さが感じられます。また、日常の場面で、あまりのあるわり算の商とあまりを使って考える問題でも数の処理が苦手なところがあります。

2 学力向上のための取り組み

- (1) 昨年度より、少人数の子どもたちを全職員で育てていくことを念頭に、教科担任制を取り入れています。多くの教職員で多角的な視点で個に応じた指導、支援を心がけてきました。国語と算数では、学年ごとに担当が指導にあたり、少人数学習できめ細かい学習を心がけてきました。
- (2) 今年度、児童の「自分の思いや考えを伝える」力を育てることを国語を中心に指導してきました。話すポイントや聞くポイントを焦点化してに揭示し、他の教科でも意識できるようにしてきました。日常の中で実践できる力がつくよう、全学年で大切に取り組みます。
- (3) 少人数の学習だけでなく、多くの友だちの考えや意見に触れる機会を作るため、国語では週1回全校国語の時間を設け、体育は毎時間全校で学習をしています。
- (4) 児童全員について、一人ひとりの生活の中で伸ばしたい力や国語におけるつけたい力を明確にして、そのための指導、支援の手だてを話し合う機会を作っています。
- (5) 6年生の算数では、いくつかの単元で中学校の数学の先生に来ていただき授業をしていただいています。中学校の学習へとスムーズにつなげるとともにより専門的な概念に触れることのできる機会となっています。

3 成果と課題

- (1) 教科担任制では、職員間で子どもの様子について情報共有することで多角的に見ることができてきているように感じています。
- (2) 国語の調査の結果から、言葉の使い方の基本や日常の文章の構成などと合わせて、漢字や文章を「書く」学習にも力を入れていきたいと思えます。
- (3) 算数では、場面から数量をとらえて計算したり、図形の面積や立体などの既習学習をもう一度見直してみたりすることで、各学年の学習内容の定着を図り学習をまとめていきたい。